# 持続的かつ魅力的な公共交通へ
## 基本計画を策定

市では、公共交通を生かしたまちづくりを進めるため、今後の公共交通体系の基本的なあり方を示す「舞鶴市公共交通基本計画」（平成23～30年度）を策定しました。

なお、策定にあたって、市パブリック・コメント手続制度（市民意見提出制度）に基づき皆さんから意見を募集した結果、特に意見はありませんでした。

計画の概要は次のとおり。

**◆計画の概要**

《基本理念》市民・企業・行政が共に支え合うことによる持続的かつ魅力的な公共交通の実現

《基本方針と施策》

**①市民生活における移動の持続的な確保**…生活交通の利用促進および外出支援策の推進、生活交通の持続的かつ効率的な確保

**②使いやすく、親しみやすい公共交通の確立**…市民ニーズに合った公共交通の利便性向上、公共交通に関する情報提供の推進およびユニバーサルデザイン化、まちづくりと連携した交通施策の推進

**③地域外からの交流促進と公共交通利用促進**…広域交通ネットワークの充実、観光客の利用を図る交通体系の整備促進

**④市民・企業レベルによる公共交通利用増大の取り組み**…市民・企業主体による啓発事業の推進など

**【閲覧できます】**計画の内容は、地域振興課、情報公開コーナー、西支所、加佐分室、各公民館、大浦・城南会館、東・西図書館で閲覧できます。市ホームページにも掲載。

詳しくは、同課（☎66・1019）へ。

# 引揚記念館 平和祈念交流展
## 「シベリア」へ連れ去られた人々

11月3日（木＝文化の日）～12月18日（日）、引揚記念館で、平和祈念展示資料館（総務省委託、東京都）の協力により、企画展「平和祈念交流展・『シベリア』へ連れ去られた人々」を開催します。

**◆日時**　11月3日～12月18日、9時～17時30分（入館は17時まで）

**◆内容**　シベリアで強制労働を体験した将兵の抑留前の生活などを写真12点で紹介するほか、シベリア抑留の体験をまとめた冊子「戦争体験の労苦を語り継ぐために『平和の礎』選集」（独立行政法人平和祈念事業特別基金編集・発行）の中から手記6点を展示。

**◆入館料**　300円（学生は150円）。

詳しくは、同館（☎68・0836）へ。

# 夜の水面に映る豪華客船「飛鳥II」
## みんなで見送りましょう

11月17日（木）、豪華客船「飛鳥II」（全長241メートル、総トン数50,142トン）が京都舞鶴港に寄港。これに合わせ、出港セレモニーの見送りボランティアを募集します。

**◆日時**　11月17日、18時30分から（19時30分出港予定）

**◆場所**　京都舞鶴港西港第2ふ頭（駐車場は第3ふ頭特設駐車場を利用してください）

**◆内容**　舞鶴和太鼓集団「かわら屋」による演奏のほか、イルミネーションの演出で出港を見送ります。

**◆定員**　先着200人

**◆参加条件**　当日、顔写真付き身分証などにより本人確認ができる人（18歳未満は保護者同伴）。※第2ふ頭は「SOLAS条約（海上における人命の安全のための国際条約）」に基づいて船舶や港湾施設の安全管理を実施しているため、身分証などの確認を行っています。

**◆申し込み方法**　当日受け付け（第2ふ頭）にて住所、氏名、生年月日を記載。

詳しくは、客船京都舞鶴港寄港歓迎行事実行委員会事務局（中丹広域振興局内、☎62・2506）へ。

# 広げよう人権の輪
## 子どもの視点からのDV ～もうひとりの被害者～

配偶者への暴力（ドメスティック・バイオレンス＝DV）を子どもの視点から描いたノルウェーの絵本「パパと怒り鬼～話してごらん、誰かに～」が日本で出版され話題となっています。

この絵本は、主人公の少年が父から母への暴力を目の当たりにして、パパの暴力は僕が何かしたせいかもしれないと自分を責め、母からは家庭のことは外で話さないように口止めされます。緊張感に押しつぶされそうな暮らしの中で、不安と孤立の二重の苦しみを抱え、悩む姿が描かれています。

物語では、誰にも相談できなかった少年が、勇気を振り絞って王様に手紙を出します。「君が悪いんじゃないよ」と王様は、悪いのは暴力を振るう大人であることをはっきりと伝えます。周りが早く気づいてあげること、我慢しないで助けを求めてもいいこと、そして、加害者自身が変わる努力をしなければならないことを強く優しく語りかけています。

近年、DVが子供たちに与える影響が心配されています。「児童虐待防止法」では、子どもに心理的な影響を与える言動は、直接的な暴力が無くても〝児童虐待〟に当たるとしています。繰り返される怒鳴り声を聞き、母親の傷ついた姿を見続けることは、心身に不安を与え、落ち着きが無くなったり、思いどおりにいかないことで簡単に暴力を振るったりするなど、将来、人間関係がうまく築けなくなることも懸念されます。

子どもにとって安全で安心できる場所であるはずの家庭が、危険で安らぎを得られない場所だとしたらそれは大変悲しいことです。

配偶者への暴力は、子どもに対する暴力と同じであるということを忘れてはなりません。

DVは重大な人権侵害であり、一人だけの問題ではないことを認識することが重要です。大切な子どものためにも、一人で悩まず誰かに相談してください。

### 女性に対する暴力をなくす運動

11月25日（金）は「女性に対する暴力撤廃国際日」。また、11月12日（土）～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間。女性に対する暴力について考え、暴力のない、誰もが生き生きと暮らせる社会づくりを進めていきましょう。

### 無料相談窓口を開設

**《面接相談》**11月9日（水）11時～14時10分、フレアス舞鶴。女性問題カウンセラーの龍田英美子さんが応じる。対象は市内在住か在勤の女性（男性も可）。先着3人。託児あり。申し込みは、前日までに電話で人権啓発推進室（☎66・1022）へ。

**《臨時 女性電話相談》**11月14日（月）・15日（火）・18日（金）10時～16時。専用電話（65・0056）へ。

※フレアス舞鶴で実施している通常の相談は、3シャーの相談コーナーに掲載。

**◆女性の人権ホットライン（☎0570・070・810）**

11月14日（月）～20日（日）8時30分～19時（19日（土）と20日は10時～17時）。家庭や職場の悩みなどの相談に人権擁護委員が応じる。無料。**問**京都地方法務局（☎075・231・0131）

**人権に関するお問い合わせは、人権啓発推進室（☎66・1022）か法務局舞鶴支局（☎76・0858）へ。**

# まちの話題

## 蒲江いきいき朝市

11月5日（土）から毎週土曜日、府道西神崎上東線沿い（蒲江地区）。8時～11時。蒲江地区で採れた新鮮野菜や米、花などを販売。**問**岩崎さん（☎090・1894・9399）

## 和太鼓フェスティバル

11月6日（日）13時30分から総合文化会館。9団体が出演。入場無料。整理券（市役所、西支所、加佐分室などで配布）が必要。

《ワークショップ》11月5日（土）13時～15時、同館。和太鼓の演奏方法を学び、翌日の同フェスティバルに出演。対象は小学4年生～中学生。先着10人。無料。申し込みは、前日までに実行委員会の中さん（☎76・5111）へ。

## 酒祈（しゅき）展

11月8日（火）～20日（日）9時～17時、まいづる智恵蔵。陶器や漆塗りなどの酒器約100点を展示・販売。入場無料。

《ワークショップ「おちょこをつくろう」》11月12日（土）13時30分からまいづる智恵蔵。手びねりと絵付けで制作。作品は後日引き渡し。地酒の試飲会も。講師は陶芸作家の伯耆葉子さん。先着20人。参加費1,500円。申し込みは、11月8日（火）までに電話かファクスで智恵蔵（☎66・1035、FAX62・9600）へ。

## 公開講座「こころも体も健康に」

11月12日（土）13時～16時、舞鶴医療センター附属看護学校。ヨーガの体験や血流・骨密度測定など。講師は小牧理絵子さん。先着50人。無料。申し込みは、前日までに電話かファクスで同校（☎63・4338、FAX63・3014）へ。

## 東日本大震災復興支援チャリティー書道展

11月15日（火）～20日（日）9時～17時（15日は13時から、20日は16時まで）、まいづる智恵蔵。書作品約50点を展示、販売。入場無料。**問**舞鶴書道連盟の小林さん（☎62・1584）

## 中小企業経営セミナー

11月18日（金）14時～17時、商工会議所。TKC近畿京滋会の税理士による講演「非常事態にも強い会社を作る！今日からできる3つの準備」や個別相談など。先着100人。無料。申し込みは、11月11日（金）までに所定の用紙（日本政策金融公庫舞鶴支店などに備え付け）で。**問**同公庫（☎75・2211）

## 実のなる広葉樹を植えよう

11月27日（日）9時30分～13時。日尾池姫神社集合。先着40人。無料。申し込みは、11月23日（水＝勤労感謝の日）までに電話かファクスで与保呂楽しい村づくり推進委員会の門河さん（☎・FAX63・1115）へ。

## ふれあいサンデー

11月3日（木＝文化の日）～27日（日）、各公民館で「ふれあいサンデー」を開催。地域の皆さんが演芸などを披露します。大浦会館・中総合会館・加佐公民館では、各公民館の講座の受講生や地域の皆さんの絵画、書などの作品展示も。

**【日時と会場】**

| 日時 | | 会場・問い合わせ先 |
|---|---|---|
| 11月3日（木＝文化の日） | 13時から | 城南会館（☎78・1800） |
| 13日（日） | 10時から | 南公民館（☎62・0288） |
| 20日（日） | 10時から | 大浦会館（☎68・2010） |
| 20日（日） | 10時30分から | 加佐公民館（☎83・0014） |
| 20日（日） | 12時から | 中総合会館（中央公民館、☎62・0400） |
| 20日（日） | 12時30分から | 東公民館（☎62・1237） |
| 27日（日） | 12時30分から | 市民会館（西公民館、☎75・6501） |

市の人口と世帯数（平成23年10月1日現在推計）

●人口　87,778人（前月比マイナス241人）☆男43,921人（前月比マイナス39人）☆女43,857人（前月比マイナス202人）●世帯数　35,329世帯（前月比マイナス247世帯）

発行・舞鶴市（〒625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044、☎62・2300）　編集・秘書課広報広聴係（☎66・1041、FAX62・7951）　印刷・有限会社　みどり印刷